

中心地域整備に関する調査特別委員会（第22回）

日 時 平成29年9月25日（月）  
午前9時～午前10時42分  
場 所 議会棟 議場

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）（傍聴者：なし）  
説明員 丸山教育長、安達次長、段塚室長、榎尾主幹  
中村副町長、久城農林課長、木下企画課長、実延専門監、島山主幹  
書記 井川主事、岩崎事務局長

○山本委員長 おはようございます。ただ今より中心地域整備に関する調査特別委員会を開会いたします。本日は、報告・調査・協議事項といたしまして、日南町体育館建築について、「道の駅にちなん日野川の郷」運営状況等についての調査を予定しておりますので、宜しくお願いします。そういたしますと丸山教育長。

○丸山教育長 改めましておはようございます。日南町体育館改築についてという事で1項目にあげていただいております。日南町体育館改築工事の進捗状況について私から冒頭申し上げたいと思います。本日説明に上がっておりますのが、教育長の丸山、安達次長、段塚担当室長、担当の榎尾主幹で報告をします。よろしくお願ひ致します。8月の当委員会でも報告をしておりましたけれども、工事実施設計監理業務プロポーザルで行うということで公告を8月10日に行いました。公募意思表明書提出期限を8月21日にしております、その時点で1組2社の共同体でありますけれども、応募資格の決定通知を8月23日に出したところであります。8月23日と言いますのは、中心地域整備に関する調査特別委員会がありましたので、その時にも報告をしたところであります。プロポーザルの書類提出期限を9月13日までを期限としておりましたが、1組でありましたけれども提出が9月13日にありました。審査結果通知を9月26日に予定しておりましたけれども、これは明日になりますけれども本日当会議がありますので、先立ちまして審査決定を内示しておるといような状況であります。経過等々については了承してやっていただきたいと思いますと思っております。本日お配りしております資料は、あくまでも提案でありますので全てがこの通りに設計されるとは考えておりませんけれども、こちらの疑問点等々を示しながら設計に入っていきたいと思っております。

ます。従いまして、本日は提案の内容のみになりますけども、示された内容について概略を担当の方から報告させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 そうしますと私の方から提案がありました事項につきまして説明をさせていただきます。まず1番「日南町産材を活用した構造（材積量等）とコスト比較の提案について」こちらの方から説明をさせていただきます。こちらについての審査項目としまして、提案の実現性ということで材積量構造、工法、耐久性、耐火性、耐震性、コスト面の方から審査を委員会の方でしていただきました。比較表の方が分かりやすいですので右側の比較表の方をご覧ください。提案していただいた比較の方ですが3パターン提案していただきました。鉄骨造+木造、木造、RC造+木造という事でそれぞれ工期、構造の特製、木材の使用量、耐久性、経済性、建物の概算コストという形で比較して提案をいただいております。工期につきましては鉄骨造+木造ですと8ヶ月、木造ですと12ヶ月、RC+木造ですと10ヶ月、という事で提案がなされております。特性としまして木造の方になりますが、こちらの方1階の部分面積全て木造でやっていると積雪荷重や耐震性確保により1階部分の部材断面が相当大きくなるという点、耐火性木組が難しくなるという点があげられました。RC造+木造ということで、コンクリート造であるがために建物の変位が少ないという有利な点を示されております。木材の使用量ということでご覧ください。こちらの方は鉄骨造+木造ですと60m<sup>3</sup>、木造でしたら最も多い412m<sup>3</sup>、RC造+木造ですと218m<sup>3</sup>という事で概算数量の方をあげていただいております。耐久性につきましてはRC造の方が湿気や水に強く耐久性に優れているという点で、他の2つの構造に比べて有利な点をあげていただきました。概算コストという事で一番最後になりますが、最も安くあがるのは鉄骨造+木造で、最も高いのが木造。RC造+木造は今回示しておりました予算の範囲内での建築が出来るという事で提案をいただいております。提案者からはRC造+木造が最も良いのではないかとということで採用案をあげていただいております。RC造+木造を選んだ理由ということで左側をご覧ください。アリーナの木材加工イメージということであげていただいております。こちらの方白い部分につきましては、大断面の集成材となります。赤色部分こちらはLVLを活用して骨組みをしていきたいということで提案をしていただきました。その下の方にシンプルな平面計画ということであげていただいております。今回図で示しているようなユニット化をすることによっ

て、大幅なコストダウンに繋がるのではないかとということも提案者の方からいただいております。2枚目をご覧ください。2枚目の方「内装における木材の特性と活用、木空間の見せ方の提案について」ということで提案をしていただいております。「木くぼりのすすめ」というコンセプトで進めたいということで提案がありました。木の特性と空間づくりということで、右上の方に5つ示されております。「温度と湿度の調整機能」「感触の良さ・やわらかさ」「香りの良さ・心地よさ」「優れた断熱性能」「視覚的やさしさ・質感」というこの5点について内装については盛り込んでいきたいという説明がございました。内装材においても日南町産材をふんだんに使っていきたいという事で提案をいただいております。左の中段の方に木視率というのがございます。50%が最も人間がリラックスして競技その空間に居れる場所という事で、フローア、壁、天井全て合わせて50%の目視、目で見て木を感じられる空間という事で提案をいただきました。そのページの下段の方になりますが、日南町の文化自然を取り入れたデザインというのも意識しながら行っていきたいという提案もなされました。具体的なものはなかったですがイメージとして日南町、例えば森・トマト・自然というものを部分的なイメージカラーとして活用していきたいというような提案もなされました。最後になります。3番「維持管理がしやすくランニングコスト低減につながる施設の提案について」ということで提案をしていただきました。コミュニティーアリーナという事で、こちら5つの件を網羅した設計をしていきたいということで提案がありました。「コンパクトで利用しやすいゾーニングと動線計画」「管理しやすい諸室配置」「見やすく臨場感に富む観覧席」「すべての人にやさしいユニバーサルデザイン」「大会時の安全な避難計画」という事で提案をしていただきました。長寿命・省メンテナンスな計画ということでも提案をいただいております。管理のしやすい集中的な、例えば機械室を集中的に配置することで、メンテナンス性の向上、トイレ内が点検しやすいような配置計画、バリアフリーへの取り組みということでこちらの方書いてありますが、車椅子の方でも十分に使えるようなトイレブースの確保、右側になりますがランニングコストの低減に対する取り組みということでLED照明の採用、このあたりをすることによって左側になりますLCC15%縮減を実現という事で提案をしていただきました。LCCライフサイクルコストという事で、施行から解体までの費用のことを指します。自然エネルギーを活用したりペアガラスの採用をすることによってランニングコストの低減という事も提案していただきました。最後になりますが図面の

方を見ていただければお分かりかと思いますが、備蓄倉庫の方も載っております。こちらにつきましては前回の委員会の時にもご意見いただいた通り、備蓄倉庫にとらわれることなく、またデットスペースにすることなく、今後設計の中でどのような形がいいかという事も検討していきたいと思っております。以上提案がありました点を踏まえまして、この提案をたたき台にして設計の方に移って参りたいと思っております。以上説明の方を終わります。

○山本委員長　ただいま説明をしていただきましたが、このことについて質疑ございますか。久代副委員長。

○久代副委員長　プロポーザルの提案は全体としてはいいと思えますけども、ちょっと気になるのは排水の事で、小学校から軒下に動線が書いてありますが、雨や雪、強風やらあった時に庇はいいけども、体育館の面積も大きいわけで、排水をどのように考えておられるのか。水捌けの周囲、そのことが気になっていますのでお聞きしたいと思えます。

○山本委員長　榎尾主幹。

○榎尾主幹　排水も含めて外構部分につきましても、今回の設計の中に盛り込んでいきたいと思っております。委員ご指摘の通り落雪時においても小中学生の動線になって参りますので、そのあたりを踏まえて教育委員会も含めて検討していきたいと思っております。

○山本委員長　久代副委員長。

○久代副委員長　と言いますのが丁度先日ソフトテニスの試合があって、新しいテニスコートの観客席を見て雨が降ったら足元の排水が全然効かなくなるという親御さんからそういう苦情も聞いています。とにかくいつ雨が降るかわからないしオム二のテニスコートですから当然雨の中でもやられるわけで、周辺の排水をきっちり取って欲しいなということを一応意見として申し上げておきたいと思えます。よろしく願いします。

○山本委員長　その他ございますか。坪倉委員。

○坪倉委員　プロポーザルに公募されて決定されたんですけれども、その事業体の名称を教えてくださいと思えますし、もう一点は全て木造にした場合に比べて構造物における使用率が約50%ということなんですけども、全体設計建設費工事費等からして概ね適切なのかなと思えますけれども、ここで木材の使用について森林組合と

のネットワークとか端材の利用とかということが書いてあるわけですが、その辺の事についてはどのような考えというか説明があったのでありましようか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 まず最初の名称の方になります。今回応募のありました企業体の方ですが、日南町体育館改築工事実施設計監理業務プロポーザル白兔桑本特定設計監理業務共同企業体になります。後段にありました部分ですが、森林組合との調整という事を2番目の方に書いてございます。提案の中で説明がなされたことの中では、今回このプロポーザルを作るにあたって森林組合の方に設計会社の方が出向かれて相談されたようでございます。その中で実際どれぐらいの工期、工事をするに当たって木材搬出から加工までの期間ですとかそのあたりも調整をされて話をされておられたようです。そのような説明の方がございました。

○山本委員長 その他ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○山本委員長 よろしいですか。荒木委員。

○荒木委員 全体を通じてですが、設計監理費が今企業体という事でしたけども、前回隣の町の方に視察に行った時の設計監理費というのは、今のこの設計監理費の半分以下なんです。その辺についてなぜそんなに高いのか。同じような体育館の建物で設計管理費が倍ぐらい違うわけです。それについて説明してください。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 今回予算で立てさせていただいた方法ですが、国土交通省が出しております設計監理業務に当たる人数、面積に基づいて算出したものになります。先般視察に行かせていただきました奥出雲町さんの方で建てられた時期、丁度設計監理業務の計算の仕方が切り替わる前の方法というのも採用されておりました。予算を立てるに当たっては教育委員会としましても、指針になるもの道しるべになるものが必要になって参りますので、国土交通省が示しましたものをベースに算出してこのような結果に、今の予算上の金額という事で提示させていただいております。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 資料をいただいたわけですが、以前は基本的にはRCとそれから木造とそういう説明でありました。今回出ているのが鉄骨と木造とハイブリットと3つ出ております。一番最初の説明にあったRCというのはまず載っていません。その

時の説明は RC にすると保険料なんか安くて10分の1ぐらいで済んで経費が安く上がるから RC にしましょうという説明を受けた記憶があります。今回 RC と比較するのが載っていないのはなぜですか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 それにつきましては、この委員会の中でも色々ご議論して木を使ったらどうだという意見を多くの委員さんの方からいただいております。それを踏まえて木造をベースにした設定をしてくださということで、計画概要の方にも記載させていただいているところです。

○山本委員長 福田委員。

○福田委員 外構工事の件でありますけど、基礎工事をした場合に、基礎工事の下が軟弱とかそれから工事費の追加等々はもうないですか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 出来る限り今の議決をいただきました予算の方で向かって参りたいと思っております。基礎につきましては、日南小学校を作りました設計しました会社も今回企業体の方に入っております。その中で今現在ある日南町体育館の地盤もよく理解しているかと思っておりますので、それを踏まえての提案があったのではないかと考えております。

○山本委員長 福田委員。

○福田委員 そしたらまた追加工事が出てくるという事ですか。小学校は追加工事が出たが。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 出来る限り追加工事がないような形で行って参りたいと思っております。追加工事がないように調査設計というのを指示していきたいと思っております。

○山本委員長 福田委員。

○福田委員 そうしますと一番最後の図面ですが、ここに駐車場があります。車が停まるように赤線で額がしてありますが、ここは町道ではないのか。それで今の駐車場スペースより車の台数が少なくないか。どこに駐車するのか。この町道にするのか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 先程福田委員のご質問にありました点も同様に審査会の中で質問が出て参りました。提案者の中では今グラウンドのスタンド部分があります。スタンド部分

を潰して駐車場にしてみてもどうかという提案という事でいただいております。こちらの方も設計段階で協議していきながら行って参りたいと思います。駐車場に関しましては、ご指摘の通り今まであった部分の駐車スペースがないような状態にあります。今教育委員会で考えておりますのが北ノ原砂防の工事で町営住宅の上部分に広い面積の平場があります。こちらの方も駐車場に活用していきながら分散してもらいながら、大変利用者の方にはご迷惑をかけるかもしれませんが、分散してもらいながら駐車スペースというのを確保していきたく思っております。

○山本委員長 福田委員。

○福田委員 例えばこの駐車場を止めてグラウンドの方を潰して作ると、駐車場スペースを広げるということになれば、この工事の外構工事とは別の工事になりますか、これは。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 このあたりにつきまして外構工事に含まれているかとは思いますが、質疑の中で質問の方が出て参りませんでしたので、そこまで調査の方が出来ていないのが現状であります。申し訳ございません。

○山本委員長 グラウンドを潰すというのをはじめて聞きました。すみませんもう一度説明していただけないでしょうか。榎尾主幹。

○榎尾主幹 提案の中ではグラウンドのスタンド法面の部分になりますが、こちらの方をレベルにして駐車場のスペースにしてみてもどうかという提案がなされました。こちらも決定事項ではございません。今後協議をしていきながらどういう場所がいいのかというのを踏まえて検討して参りたいと思っております。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 一番最後のページの受水槽というところがあります。それから非常用電源と受水槽となっておりますが、この受水槽はこの施設の水を全て賄う施設なのかどうか。それとも例えばトイレだけを賄う水であるのかどうか。それから非常用電源は例えばバッテリーなのかそれともディーゼルの発電機を置くのかどうかというのを教えてください。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 提案の中ではこの受水槽、非常用電源につきましては体育館のものということで提案がなされました。それ以外の先程委員の質問にありました事項につき

ましては、そこまで提案がなされなかったのと委員の方から質疑の方がなかったというのが実態でございまして、今後こちらの方も検討事項になって参ります。

○山本委員長　　よろしいですか。大西委員。

○大西委員　　先程の駐車場の件なんですけど、よく我々も野球とか色々使っております。夜になるとバレーボールの練習とか、体育館の方を使っておられます。現時点でも車が停めにくい状態なので、なおかつこの面に18台なおかつ野球の観覧席のところをなくしてしまうということになれば、ちょっと検討してもらいたい。全体を見て中学校の裏の駐車場、それから中学校の正門側、小学校、本当にスペースが作れる駐車場があればそこを線引してでも絶対数は、体育館の正面側、野球側とかなないので駐車場の使いやすいように、皆さん集中してやっぱり近いところに停めたいと思うんですけども、そういった形の誘導出来るような、それから武道館のところの駐車場、やはり駐車場を分散になると思いますけども町民の皆さんに分りやすいような駐車場配置、なおかつ線引等をしていただきたいのですがどうでしょうか。

○山本委員長　　榎尾主幹。

○榎尾主幹　　ご指摘ありがとうございます。本当にその通りだと思っております。駐車場につきましては教育委員会でもどこに何台駐車出来るのかということも踏まえて検討してまいった経過もございます。今後も設計会社と踏まえて検討しライン引きをしていきたいと思っております。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　もうひとつ。特に野球する時に、野球側のところに駐車するとなれば、例えばネットを高くするかネットを傾げるか、なにかをししないと特にグラウンド側に駐車するとなれば、危険性もあるのでその辺も十分考慮していただきたいと思っております。それから観覧席は出来る限り残していただきたいなど。実際そこでなかったら運動会でやるような本部席までいくのかとなるとベンチ側のところで座って見たいというのが結構あると思っておりますので、その辺のニーズもやっぱりグラウンドそれから体育館を使われる方のニーズも把握していただきたいなどと思っております。その辺はどうでしょうか。

○山本委員長　　榎尾主幹。

○榎尾主幹　　先程の意見でもレスタンドを潰して駐車場にした場合、やはりフェンスが必要になってくるのではないかとということで審査委員の方からも意見が出て参りました。また同様にあそこのスペースを潰さずに観覧席として残してもいいのではな



いかという意見も同様に出て参りました。こちらの方も提案者含め関係者、特にナイターリーグ、小中学校、そのあたりも踏まえて利用者の方とも相談して参りたいと思っております。

○山本委員長 関連で。久代副委員長。

○久代副委員長 同僚委員の皆様から今の指摘は非常に大切なことだと思います。体育館本体の工事に伴って、やっぱり一定駐車場の事を再検討しなければならないということは、この体育館は出来たが駐車場は動線もおかしいし、へんな状態だということにならないように、ある程度一体的に本当に町民グラウンドの広さ或いは野球として利用される皆さんの要望と駐車場との関係を改めてしっかり整理されて望まれないと、また新しい体育館が出来たけれども何か非常に中途半端だなということにならないように。建物はいいけれどもその周辺管理が非常に問題があるということにならないように、改めて教育委員会の中でもしっかり設計を出すに当たって、含めて議論をしていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 色々なご指摘ありがとうございます。駐車場の件につきましてもこれは提案ですので、その提案が出た時点でも教育委員会の方ではこれはまずい、当然町道でありますので町道の確保もしなければならないというところを思っておるところであります。従いましておっしゃる通り駐車場の件については、もうちょっと検討して設計に入っていきたいと教育委員会の方でも考えておるところであります。色々ご意見いただいたところでもありますけれども、ご承知の通りすでに4ヶ月5ヶ月遅れておるのが現状でありまして、早急に設計に入っていきたいと思っておるところであります。従いまして、当然この工事の発注につきましても、議会の承認が必要であります。そのときには十分な説明をして発注に入るというわけでもありますけれども、設計がスムーズに行きますように後は私共にお任せをいただきまして進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 確認ですけれども体育館の前の道路、今イチイ荘武道館に行く道路なんですけれども。町道じゃないでしょう。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 住宅等ありましたので町道だと思っておりましたけれども、確認をし

たいと思います。ただイチイ荘に行かれたり、町営の住宅それから武道館に行く道ではありますので、支障のないようにやっていきたいと思います。

○山本委員長　　その他ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○山本委員長　　私の方からひとつ聞かせていただいてもよろしいですか。1枚目のところで木造、RC、鉄骨＋木造とありますが、耐久性のところでは鉄骨造＋木造でしたら外部仕上げ材のメンテナンスが必要というところと、RC＋木造でしたら上部仕上げ材のメンテナンスが必要という事で別れておりますが、これはどういうことなのか説明をしていただければと思いますが。

○山本委員長　　榎尾主幹。

○榎尾主幹　　仕上げ材のメンテナンスが必要というところですが、役場をイメージしていただければわかるかと思いますが、役場の方板を貼った形での外壁を仕上げております。こちらの方提案の中ではおよそ10年に1度塗料を塗ってやることによって耐久性が持つというような提案がなされました。このような形での表記ではないかと思っております。

○山本委員長　　外部仕上げと上部仕上げというところを聞きたいんですが。榎尾主幹。

○榎尾主幹　　この比較なんです、板張りの部分の場所を示してございまして、上部仕上げというのは今お配りしました資料の下の部分 RC になりますので、木が貼ってあるのが実際上部部分、木造の外部仕上げ材下から上まで木ということになりますので、このような表記がなされているのではないかと思っております。

○山本委員長　　鉄骨造＋木造のところも外部仕上げ材のメンテナンスとありますが、これは外部は木じゃないんじゃないですか。榎尾主幹。

○榎尾主幹　　おそらく外側全て木という提案だったのではないかと思うのですが、そこまで詳しい実際のところ提案が鉄骨造＋木造については説明がなかったというのが事実でございまして、詳細には聞き取れていないところではございます。

○山本委員長　　詳細な説明もなしに資料を作られたのかという気がしておりますが、そういったしますとその他ございませんでしょうか。その点についても確認をしていただきたいと思います。久代副委員長。

○久代副委員長　　今日の委員会を受けておそらく設計の入札をされるようですね

ども、設計が出来る段階でやっぱりもう一度先程委員長からも質疑があったようなことも含めて、議会で説明をいただきたいと思いますが委員長どうでしょうか。委員長もう一度設計が出来た段階でお願いするということはどうでしょうか。

○山本委員長　設計が出来た段階で確認という事で、それともうひとつ前回お話がありました備蓄ヶ所を1ヶ所にするのか2ヶ所にするのか検討してくださいという委員からの意見があったと思いますが、このことについて今の設計を見ますと2ヶ所で作られるような感じがしておりますが、どのように検討されたのかお聞かせください。  
榎尾主幹。

○榎尾主幹　備蓄倉庫につきましては先程こちらの資料の中でも説明しました通り、防災担当と本当にこちらに備蓄倉庫がいるのか前回の委員会の中でもご指摘のあった他のスペースとして活用することは出来ないのかというあたりも踏まえて設計の中で検討して参りたいと思っております。

○山本委員長　このことについても最終的な設計が出来たときに説明をしていただくということでお願いをしたいと思います。そういったしますと日南町体育館建築についての調査は以上で終了したいと思いますですがよろしいでしょうか。福田委員。

○福田委員　屋根の上が換気するようになっている。とんがり帽子みたいなものが付いている。これはちょっと考えもんじゃないですか。屋根は平らな屋根にして、こういうものを作らんようにしてもらわんとまた雪で屋根がめげますよ。

○山本委員長　榎尾主幹。

○榎尾主幹　提案の中ではこちらの屋根の方から換気をするという事で提案がされました。換気の間所も今いただいた意見も踏まえて換気場所も考えていきたいと思えます。

○山本委員長　よろしいですか。そういったしますと以上をもちまして体育館についての調査は終了したいと思います。御苦勞様でした。そういったしますとここでしばらく休憩をいたします。再開は9時50分からといたします。

(休憩　午前9時40分～午前9時50分)

○山本委員長　会議を再開します。続きまして道の駅にちなん日野川の郷運営状況等についての調査を行います。説明をお願い致します。実延専門監。

○実延専門監　それでは道の駅にちなん日野川の郷直売所におきます平成29年度の4月の状況と一部資料にて8月分を暫定においてご説明いたします。タブレット5ペー

ジをお開き願います。まず売上でございます。7月の売上計画税抜きで787万円に對しまして実績が578万6,000円でございます。売上総利益としましては164万2,000円、利益率で28.4%でございます。経費ですが221万7,000円の実績となりまして、営業利益は57万5,000円のマイナスでございます。それに営業外収益としまして町の委託料足し上げた7月の利益でございますが109万8,000円でございます。また、4月から7月の状況でございます。売上計画税抜きで2,823万9,000円に對しまして実績が1,930万7,000円でございます。売上総利益は564万7,000円の計画に對しまして497万3,000円の実績でございます。経費は1,191万5,000円の計画に對して835万5,000円の実績でございます。経常利益の比較でございますが42万5,000円の計画に對して331万円の実績でございます。続きましてタブレット6ページをご覧くださいと思います。こちらは月別の実績を昨年度の月別と比較した表でございますが、実績数値は先程ご説明しましたものを転記しております。7月の経常利益を比較いたしますと、昨年度が6万4,000円のマイナスに對して今年度は109万8,000円でございます。4月から7月の累計比較でございますが売上は大きく落ち込んでいる状況でございます。経常利益は昨年度111万2,000円に對して331万円の実績でございます。続きましてタブレット7ページをご覧くださいと思います。上段は先程ご報告いたしました直売所の実績を下段はレストランの実績をそれぞれグラフ化したものがございます。今年度実績を朱色で昨年度実績を青色で示しております。また棒グラフで売上を折れ線グラフで客数レジ通過者数を示しております。8月の直売所の状況でございますけども、昨年度と比較しまして売上は下がり客数が上がっておるという状況でございます。またレストランの状況ですが昨年度と比較しまして、客数の大きな変化に對して売上はほぼ横ばいの状況でございます。次にタブレット8ページをご覧くださいと思います。直売所の部門別売上実績でございます。表示はデータ処理の便宜上税込みで処理をしております。価格の単位は円単位でございます。4月の欄から左側が今年度売上計画でございます。8月分は暫定値として整理をしておるところでございます。また4月から8月の累計につきましては右側の合計欄をご覧くださいと思います。次に9ページをお開き願います。道の駅施設別売上客数にEVI実績一覧でございます。表示はデータ処理の便宜上税込みで整理をさせていただいております。8月分ですが、先程の資料と同じく暫定値として整理をしております。来場者数につきましては直売所とレストランの実通過者数にケースを掛け合わせた数として

おります。7月は1万3,690人、8月は1万6,082人でした。簡単ですが以上で説明を終わります。

○山本委員長　　ただいま説明をしていただきました。このことについて質疑ございますでしょうか。久代副委員長。

○久代副委員長　　売り上げの数字ではありません。お聞きしておきたいのは委託料の支払いの仕方です。MA サービスと運営委託費が当初予算で2,368万3,000円、それと道の駅清掃委託料が390万3,000円と2つ委託料がありますが、これはどういう支払いの仕方になっているのかということをお聞きしたいと思います。例えば丁度決算の時に福祉会への高齢者住宅のことが問題になっていましたけども、これは毎月払うのかそれとも隔月なのかどういう委託契約にしているか、相手方もやっぱり月々こういう決算書を出されるわけです、受託者は。ですから賃金をどの業務も毎月の給料受託者は支払わなければいけないわけで。出来ればその点についても一定の考慮が必要じゃないかと私は考えますけれども。どういう支払い実態になっているのかお聞きします。

○山本委員長　　実延専門監。

○実延専門監　　ご指摘いただきました委託料の支払い、まず道の駅の運営委託料ですが年2回に分けてまず概算払いにてお支払いをし、年度末に精算を行うという方法手法でございます。また清掃委託をしております委託料でございますが、年3回の同じく概算でお支払いし年度末に精算という手法を取っております。

○山本委員長　　久代副委員長。

○久代副委員長　　それは例えば当初予算が議決された4月1日に最初に払うとあと9月に払うという手法でしょうか。それぞれどうなってますか。

○山本委員長　　実延専門監。

○実延専門監　　最初4月の初年度に概算で1回目をお支払いし、2回目の支払いについては年度中途に払い、3回目を年度末に精算という手法を取っております。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　レストランの経営なんですけど、例えばレストランの経営実態といったものは資料提出は出来るんでしょうか。例えば売上に対して人件費とか光熱費とか引いて荒利というのは出来るんでしょうか。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　ご案内のようにレストラン部分につきましては、MA サービスさん

の直営言えばおかしいですけども、そういった経営方式になっておりますので、売り上げにつきましては基本的に皆さん方に今回のようにご報告の内容はいただいているというところでありますので、極端に言えば歳出の方につきましては経営者側のいろんな手法のあり方だろうと思っておりますので、具体的な数字については今はその辺については求めてはいないところでありますが、経営者側との懇談の中で例えば極端な言い方をしますと、今年はどうだったというような話のイメージはお話はさせていただいておりますけれども。逆にいえば具体的な数字については求めてないというのが現状であります。

○山本委員長　大西委員。

○大西委員　なぜ聞くかという、今年度も終われば今度は指定管理という形になる場合に直売所とレストランは確かに経営は違いますけども、やはり MA さんが関係するとなれば参考程度に初年度は2,000万の売り上げがありましたと。それが黒字だったのか赤字だったのかぐらいの程度でしていただいた方が、かたっぽ両方とも赤字でしたというよりもどうなのか。やっぱり指定管理する場合には参考資料でその時に、新年度の予算でどうのこうの言った時にもう時間がないと思うんです。その判断の資料として参考程度に出していただけないかというお願いです。どうでしょうか。

○山本委員長　中村副町長。

○中村副町長　基本的には民間の経営状況でありますので、答えは公表はしにくいと思っておりますが、お話程は昨年度実績と言いましょかその辺についての具体的な数字ではなくて、イメージですけどもそういうお話はお伺いしております。

○山本委員長　近藤委員。

○近藤委員　部門別売り上げの方ですけども、相対的に当初の目標をクリアしていないというのが大きいわけですけど、その中で根菜類などが大変売り上げが伸びていないという事で、果菜類、葉菜類の方はまあまあいい数字が出ておるのに根菜類は出ていないという事、それとその他の部門のその他という括りの部分が大幅に売り上げが当初の目的通りいっていないという実態が見受けられますが、その他の中のその他というのはどういうことを想定したその他になっておるのか内容を教えていただきたいと思えます。

○山本委員長　島山主幹。

○島山主幹　ご質問いただきましたその他のその他の欄ですけども、8月の速報

値でございますけれども前月比で倍ぐらいになってると思いますけれども、こちらにつきましては8月分関東町人会に向けたボックス便が出ておりまして、そのボックス便が8万円を占めております。その他のその他の他の内容でございますけれども配送料等が含まれておると聞いております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 その他のその他で400万という当初の売上計画があるわけですけど、その内容がこのBOX便とかそういった手数料の収入に上げられておられるということですか。

○山本委員長 時間がかかりますでしょうか。島山主幹。

○島山主幹 この400万の内訳につきましては、もう一度確認しましてお答えさせていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

○山本委員長 久代副委員長。

○久代副委員長 道の駅で買い物をされてお土産にしたいという方が、道の駅で統一されたお土産用の例えば紙袋とか包装とかいうのは作っておられますか。非常に初歩的な質問なんですけど、とある方がお土産にしたいのにそういうものがなかったと言われたんですよ。その後どうなっているのかという確認も含めて知らせていただきたいと思います。せめてそういう商品、物は必要じゃないかと思いますがどうでしょうか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 紙袋は用意してございます。申し出ないとその紙袋には入れていただけないと思いますけれども、一品から入れてもらえるかどうかそこまでは確認しておりませんけれども、紙袋と言えは専用の紙袋を用意していただけます。

○山本委員長 紙袋はあるということです。久代副委員長。

○久代副委員長 普通私達がいろんな道の駅にも視察に行ったりあれこれするわけだけども、ほとんどのお店でそういう袋に入れてもらうわけですよ。別に袋は何枚入れましようかというふうには、お土産が何点かまとめて買うとそういうこともあるわけですよ。いちいちこの道の駅で買った袋に入れてくださいと言わなければ、確かに葉菜類や根菜類は普通のビニール袋の下げ袋でもいいかもしれませんが、そういうお土産用として買われた方についての対応をしっかりと欲しいと思いますけど。どうでしょうか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 MA サービスさんとも相談して、そういったような専用の袋がございませうという表記をさせていただいて、お申し出くださいというような形でもするか、たぶんその辺はまたどんどん出ると出費に繋がるという事もあるかと思っておりますので、希望者にはお出しするような形のことが直ぐわかるように表示の方を話し検討はさせていただきます。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 先程のご質問の中の根菜類の件であります、一応昨年も実績も踏まえての種類の話ですけれども、基本的には大根とかにんじんとかカブ、ごぼうとかじゃがいも或いは長芋というところは種類の的には整理が出来るのかと思っておりますので、逆にいえばこれからという商品も多いと思っておるところであります。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 農産物直売所における特に生鮮品を中心として、棚から引き上げられる率というのはどれぐらいあるんですか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 ちょっとパーセンテージまでは確認出来ておりませんが一応担当の職員の方がおられまして、商品として売れないという判断をされた場合には下げていただくようにしております。状況によってはそれをレストランが使われるという形になって、ちょっと率につきましてはまた改めて確認をさせていただきます。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 農産物直売所において生産と需要のバランスというのは大事であるし、そのことがひとつの直売所の魅力アップに繋げていくところで、重視をしなければならない点だと思うわけですが、棚から引き上げる率がどの程度あるのかということも十分経営の中で把握されるべきだと思います。それともう一点は来年に向けて来年3年目に向けていくわけなんですけれども今年もう9月が終わりです。来年に向けて農産物直売所、農産品をどう生産して販売をしていくのか、その辺の戦略は今からでも遅いぐらいだとは思いますが、例えば出荷者協議会での協議それから出荷者協議会に入っておられない町民の皆さんへの出荷のアピール、この辺についてはどのように今現在取り組まれているのか、今後取り組まれようとしているのか説明をお願いします。



○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 まず今検討しておる内容も含めまして報告をさせていただきます。今年色々取り組んでおります野菜のBOX便、これにつきましてはまた年末にかけて実施して参りたいと考えておりますし、ホームページでの販売ということは今後それは生鮮野菜も含めまして、いわゆる加工品等々の販売もそれで充実させて参りたいと考えております。それは特に冬場に向かいまして来場者が減ってくるころに向けて、生鮮野菜も落ちてくるわけではありますけれども、そのあたりをネット販売を充実させることによってカバーして参りたいと考えております。もう一点新たな動きといたしましては、料理研究家の服部幸應さんこの方が服部トレースという形で、限定商品を魅力ある商品として全国展開をしていくというような取り組みを今後なされようとしております。それらについて今後出荷者協議会に賛同者を募って、そういったような方々の商品を逆に道の駅でまた特別なコーナーに置く等して新たな戦略を練っていきたいと思っております。これら商品につきましては服部幸應さんの方は海外輸出もターゲットにしておられます。そういったような取り組みを行いながら特徴のある道の駅を目指して参りたいと考えております。カーボンオフセットのCO2排出ゼロの道の駅という形での取り組みになろうかと思っておりますけれども、現在この取り組みに賛同しておる道の駅が北海道石狩、新潟県魚沼、秋田県横手、熊本県小郡、岡山県津山、宮崎県日南、一応これだけございます。これらの道の駅との協議会連携を図る等して道の駅のPRに努めて集客アップに努めていきたいと考えております。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 インターネットでの販売とかBOX便、これらあたりは極端に言えば店舗がなくても出来る商売というか売り方だと思います。アンテナショップとしての位置付けは当然あるのかもしれませんが、けれどもこの道の駅そして特に農産物直売所について、そこに来ていただいて入場利用者数の目標もあるわけですが、来ていただいてそこで地元産品を買っていただくというのが本来の主旨であろうと思っております。そういったことからすると直売所の魅力を上げていく必要がさらにあるだろうと思っております。それは品質であったり価格であったり色々あると思っておりますけれども。そういうことからしてより日南町ならではの農産物の生産というところを、もう少し積極的に進める必要があるではないかと思っておりますが、そういったところも踏まえてもう間もなく10月で来年の作付について準備をする時期になるわけですが、そういっ

たところも出荷者協議会やそして出荷者協議会に入っておられない方々に対してアピールをされていくべきだと思います。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 基本的には委員のおっしゃられた内容と言いましょか、直売所の方に来ていただくというのがメインだろうと、主だろうとももちろん当初から考えておりますが、ただそこにもやっぱりある程度限界があると思っておりますので、商品拡大、量を拡大していこうというふうになる対策のひとつとして、BOX 便であったりというところも併せてしていく必要があるんだろうなと思っております。地域の地元の会社の方も1回ありましたし、町人会あたりの皆さんへの PR も含めて場合によってはふるさと納税という捉え方の中での一翼を担っていただくということも視点はあるのかと思っておりますので、両方大切ではないかと思っておりますが、主はやっぱり直に来て見ていただいて購入していただくというのが基本的な考えであります。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 ご指摘の通りであります。構えておるだけではなかなか本来来ていただけませんので、色々なイベント例えば今度10月22日には名車フェスティバル、それからライスバーガーというような形で実施します。それは日南町のおいしいお米を存分に PR していきたいと思っておりますけども、そういったような形でやっていきます。定期的に月1回の出荷者協議会の皆さんとの会議もこれも継続しております。そういったような中での皆さんのご意見を踏まえまして、新たな戦略はこれからどんどん練っていききたいと考えております。

○山本委員長 坪倉委員の質問は、来年に向けての作付の準備はいかがかという事が主だったと思いますが、そのことについてのお答えをいただきたいと思いますがいかがでしょうか。久城農林課長。

○久城農林課長 それは道の駅の出荷する、出品していただくものということですか。それらにつきましては何がよく売れているのかどういったものが逆に不足しているかというようなことは、常に出荷者協の中で情報共有をするようにしておりますので、そういったようなことを参考に出荷者協の皆さんで最終的にはお考えいただくことだろうと思います。ただそれらの参考になるようなデータの方は今後も提供して参りたいと思っておりますし、今回の服部トレースの件につきましても情報提供は出荷者協の皆さんにはこれからですけども、メール等で皆様全員に提供させていただいて

説明会等々についても開催していきたいと考えております。

○山本委員長　　よろしいですか。関連ですか。

○福田委員　　この売り上げの中で果物が出ております。これが8月には21万1,000円から出ておりますし、倍になっております。8月の売り上げが。これはどんなものが出たですか。

○山本委員長　　8月の果物の売上ということですか。中村副町長。

○中村副町長　　基本的には道の駅の方で外部からの購入分の中での展示での購買という事で、具体的には8月分に関しましてはりんご、なし、もも、ぶどうというのが主体的な数字であります。りんごは町内だそうです。すみません。

○山本委員長　　よろしいですか。近藤委員。

○近藤委員　　同僚委員がおっしゃられましたけど、棚からの引き上げる品目がやはり多いと、加工品も含めてですけど。加工品も30出して11引き上げたとかそういった事例も出荷者協議会の中の方からも聞いておるわけですけど。やはりこの出荷者協議会の強化するというのの一番は、やはり販売をこういう形で道の駅で販売をしてもらうという委託料的なことをMAの方に支払ってお願いをして販売をしてもらっているという現状です。それが十分機能していないというのが今後一番不安視するのが、出荷者協議会が弱体化するのが一番心配するわけです。道の駅で売れるという実績を積み込むことによって、やはり生産者も意欲がわくということで循環的にそちらの方の循環、今までが出荷者協議会の強化の方を沢山謳ってこられましたけど、実際の出荷者協議会の強化というのはやはり道の駅で売れるという事が前提です。その辺を特に要望として言いますが、これをどういう形で取り組んでいくかその辺の姿勢の程伺いたいと思います。

○山本委員長　　久城農林課長。

○久城農林課長　　ご指摘の通り道の駅で売れるというのが一番理想ではあると思います。ただ、言いましても来場者がこういったような形で横ばい、やや減っているような状況にありまして、こちらの方から打って出るということは必要と思います。そのひとつの方法がいわゆる服部トレース、これによって全国展開をしていく中で販売をしていきたい。特に生鮮につきましては日数日持ちの関係がありますので、鮮度の問題がありますので、なかなか難しいと思っておりますけども、現在加工品を中心に登録を行ってこれらによる日南町の加工品の全国展開を図っていきたい、そういうこ

とによって色々などこの販売網が構築出来るのではないかと考えておるところです。やはり生鮮につきましてはBOX 便等々の方法もありますけれども、これにつきましては日南町の道の駅に来ていただいて売ることが一番だと思いますので、それらにつきましては今後またありとあらゆる方法を模索しながら、日南町の道の駅にきていただいて購入していただくという形を今後も中心に考えて参りたいと考えております。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 ご指摘の話ですけれども、どういう方法が一番いいかというところも含めて、経営者会議あたりで道の駅の皆さん或いは出荷社協の皆さんにも加わっていただいて議論しておりますので、そういった形の中でさらに伸びるように知恵を出し合いながらやっていきたいと思っております。

○山本委員長 恵比奈委員、関連ですか。

○恵比奈委員 先程近藤委員の方から販売に力を入れてということですが、お客さんが来てくださらないと売れないからという話なんです、鶏が先か卵が先かということでありまして、せっかく来ていただいたお客様に満足して帰っていただいてもらわないと口コミで直ぐ広がりますから、日南の道の駅に行ったって高いばかりであり新鮮でもない野菜が、それもちよびっとしか並んでいなかったから、ものすごく期待はずれだったわという話はよく聞きます。鳥栖先生に来てもらっている時から、農産物や生産物に自分で値段を付けて自信をもって値段を付けて、例えば団塊から上の世代のお金を沢山使いたい金が高くてもおいしいもの安全なものを食べたいというお客様をターゲットにするんだというお話で、当初から随分自信を持って値段を付けておられるようです。ですけれどもやはり市場の一般的な価格というものもありますので、あんまりかけ離れていて、かけ離れているものを買うともものすごく期待するわけです。これが100円のほうれん草が300円のほうれん草だけでもどんなにおいしいだろう、どんなに安全だろうともものすごくお客様は期待するわけです。それがちょっと鮮度のあるものですから直ぐに薬物野菜なんかも直ぐ萎れてきますので、そういうものが他所の倍かみたいな話になると数も少ないし日南の道の駅に行ってもあんまり良いものはないなとなりがちだと思います。やっぱりお客さんに満足して帰ってもらうには、新鮮な野菜が沢山それも値段も手軽なものが出ているのがまず最初は大事だと思います。そのために新鮮な野菜を沢山出してもらうためには、棚から引く

のがさっきから出ておりますけれども、棚から引くのが沢山になっては生産者の意欲が落ちます。実際に聞きます。日南の道の駅に出してもいつも残るので他所に持っていった方が確実に売れていいという話をよく聞きます。だから自分は道の駅にはあんまり出さないんだという声も聞きます。そういうことにならないようにどういった販売方法がいいのか、野菜を仕入れる方法がどういうふうが、今委託販売になっておりますけれども、それをどうしたらいいか。そして売る方も委託販売だと人の作ったものです。人の作ったものが萎れていて商品価値がこれだとなさそうだなという前に皆さんが一生懸命作ってくれたものを、一生懸命自分達が責任を持って新鮮なうちに売っていくんだという気概もなかなか出てこないと思います。自分のお腹が傷まないという人の事ですから。道の駅の経営者が悪いとかそういうことを言うつもりはありませんけれども、本気になって売っていくことを考えるためにどういった仕組みづくりが大事かという事を検討していただきたいと思います。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 直売所につきましては人手不足という事もありましたけれども、この度奥大山道の駅の駅長をしておられた方に入ってくださいまして MA サービスの方が雇用されまして、充実を図ってその販売体制の強化を図っていただいております。今ご指摘のあったようなご意見というのは我々の方にも届いております。色々試行錯誤を図りながら出荷者協の皆さんも一生懸命やっておりますので、そういったようなお気持ちを組んでそれらが価格にも差がある、そういったような中で同じ商品であまりにも差があるようなケースにつきましては、また出荷者協の中でも話し合いをしながらある程度価格が同一とは言いませんけれども、平均化するような話もしておられます。そういったような中で基本的には鮮度が下がった野菜を下げる、下げないという判断は出荷者の方にお任せしておりますけれども、あまりにもひどいものについては、スタッフの方が下げられるそういったようなやり方を行っております。そういったような中でそれらの有効利用を図る等して、出荷者協の皆様にも満足していただけるような運営になるよう、そのあたりにつきましては今後とも農林課も一緒になって考えていきたいと考えております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 冒頭農林課長の方の説明の中で、棚に置いておいて売れないのはレストランの方というお話があったんですけど、その場合当初の計画では本人が取りに

出ない場合には、処理費を払うということになっておったと思います。その場合にはレストランが売れ残ったと言えはなんですけれども、売れにくいものを仕入れる場合にはその経費はいるのですか、いらぬのですか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 その経理については確認いたします。どういう形になっているのか基本的には購入はしておられると思うんですけれども、どれぐらいの価格でというようなことは確認させていただきます。

○山本委員長 よろしいですか。近藤委員。

○近藤委員 もうひとつお伺いしますけど、加工品を作るということで加工実習室を設けておられますけど、その使用時間、夜でも良いわけですか。その辺をお伺いします。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 現在のルールとしまして半日単位でお借り出来るように設置をしております。仕込み等つけ込む場合でその間占拠する場合がございますので、基本人の出入りがその都度それに必要であれば、そこまで制限は設けていないのが現状でございます。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 という事は仮に仕事が終わってから使われるのは可能だという。5時6時から半日コースで使うということは可能だということですか。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 基本的な話から申し上げますと、まず予約は早いもの勝ちと言えは適当かどうかもございますが、予約を事前に行いまして空き状況で利用する。夜中の時間帯につきましては、当然施錠行為が発生しますので道の駅のスタッフとそこは詳細はケースバイケースにて利用が可能と伺っております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 ケースバイケースという事は要するに使えないという事が多いということですか。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 これまでそういったところまでこちらも積極的なPRも不足しておりますし、具体的な相談も受けていないというところが現状でございます。ただ今

後そのようなご利用使用がしたいというときには具体的に何時から何時まで、どういった工程でということでは認めますとか、もうちょっとずらしてもらえないでしょうかという詳細の話になろうかと思っております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 加工実習室を使いたいけど日中に出て使うほど本格的にまだする前の段階として、夜にでも試作品を作りたいけどどうせ夜は使えないからという声を聞きましたので、やはり夜でもいいよということならそれもやはり言って、最初から大量生産ということは出来ないわけですので試作品から作るのに、そうした場合はやはり夜でないとなかなか出来ないという事があると思うわけです。そうした場合夜でも使えますよということやはり大事なことだと思し、それは住民の方にそういったことをチャレンジしたいという方には、教えてあげた方が良くと思いますのでその辺の取り組みをよろしくお願いします。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 このあたり具体的にいつからいつまで利用出来ますというPRをまた道の駅から発信出来るように努めたいと思います。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 同僚委員からも発言がありましたが、確か来年からは転作の制度自体がなくなるんだという中で、やはり出荷量が減ると思うわけです。既存の販売網に乗ってない人は水田転作で出来た野菜、特にかぼちゃとか非常に年間通して多いように思ったんですけども、やはりそういう対策は同僚委員が言われるようにもうすでに今から取り組まない、おそらく野菜の量が激減するのではないかと私は感じておりますけども、そういったことを含めて今一度本当に出荷者を募って人によって単品ではなくて複数品目を作ってもら、そうしないと棚がいつもトマトの時期にはトマトだらけですし、きゅうりの時もきゅうりだらけでした。やはりそういったいろんなものを品数を増やすという事も含めて考えられた方がいいのではないかと思っております。この話が始まったころから私申し上げておるんですけど、最初恵比奈委員も言われましたけれども高いという評判が出たら大変なので、そこは行政が支えるにしても大量の品物を安くまず出すと。そうすると近隣の店を見ておりますと米子の宗像あたりの店は、業者さんが買いにきておられます。ですから買われる量が半端でないです。カート2台分ぐらいを仕入れて帰って自分のお店で調理して出されるという風景があり

ます。まだそれが日南町にはないので是非そういったお客さんがとれるように。それから新見のJA、あそこに1回行ってみられたらこれもトランクいっぱいという売り方なんです。そういうものを抱えながら品目を増やして量を増やして行ってバランスをとると。楽しみにおいでになったお客様にはそういう楽しみがありますけども、業者の方も4時ごろ来て全部貰うわと言うようなシステムを考えられたらと思っておりますので、ご検討いただければと思います。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 参考になる意見をありがとうございました。確かに日南町の場合には多岐に渡ってという状況になく、特典の時期に特定のものが沢山並ぶ、ただ一方それでトマトあたりも今年についてはよく売れておったと道の駅の方もトマトはよく売れましたと言っておられます。そういったような中で今度は業者へというのは、これは個人的にも色々連絡も取ったりしてそういったような販売が出来ないものかと取り組んでおります。そういったようなことを今後も特定の野菜というようなことにもなろうかと思っておりますけども展開して参りたいと考えます。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 先程その他のその他の400万円のお話いただいておりますが、若干調べましたので申し上げてもよろしいでしょうか。予定としましては、昨年度実績が約100万円でございます。この項目でございます。今年度については配送料、これはBOX便の促進というあたりを多く含んでおるようです。その他カブトムシでありますとかどじょうでありますとか、いわゆる生き物がこの項目に含まれております。また道の駅で取り扱います記念切符についても、この項目で売り上げを見込んでおるという事でトータル400万としてそれぞれの詳細までは伺っておりませんが、配送料、生き物等、記念切符代という事で整理をしております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 いう事は配送料については先程説明がありましたけど、他の実態については十分な成果が上がらなかったということで認識していいですか。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 記念切符あたりもこれは特定の者が求めやすいという感覚を持ちがちですが、道の駅から広報を積極的にこういったものがあります、道の駅の限定品です、という広報あたりは若干不足もしておったと思っておりますが、改めてここでしか買え



ない当然商品でございますので、このあたりは PR に努められたらと思っております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 中にカブトムシ、どじょう等生き物の販売を計画していたという事ですが、実際カブトムシの虫カゴが1つか2つあったと見ておりますけれども。どじょう等も販売されたのですか。要するにこういった生き物の取り組みが当初の計画に対してその通りに思い通りに行かなかったということで、こういった数字に表れたということによろしいですか。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 委員ご指摘の通りかと思っております。その上でそのあたり先程来のご意見いただいておりますところに直結すると思えます。魅力であるとかこの道の駅での満足度に繋がるような展開というのは、他商品含めてさらに上がっていくように努めて参りたいと思えます。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 先程の古都委員のご質問に一点付け加えさせていただきます。ライスバーガーフェスを今度開催する時ですが、お米は当然日南町のお米でありますけれども、日南町の特産品を必ず一品は使っていただくという事を義務づけております。このあたり米子の業者あたりそれから JA 鳥取西部農協女性部、それからアメダス茶屋の坪倉さん、色々今手をあげていただいておりますけれども、そういったような中でいわゆる町外から来られる業者さんには、日南町の農産物を PR させていただきますして、それらが今後取引につながればと考えております。こういったような取り組みを今後も継続しながら、日南町の生鮮食品の PR にも努めていきたいと思っております。

○山本委員長 その他ございますか。古都委員。

○古都委員 度々同じことを言うようすけども、構想されてから3年は過ぎておるわけですし、その時も申し上げましたけども桃栗3年柿8年とか言いますが、最近柿は8年もかからずに実が生るようです。早い段階でそういったものを植栽をしないといつまで経っても仕入れて来なければならないということになりますので、種苗費補助等ありますけども果樹苗は対象になっていないと承知しておりますが、やはりそういったものを植えれば3年先には収穫があるわけですし。わいだいという早く作る技術がありますので、今からでもそういうことを構想されないと言葉が悪いですがジ

り貧になりますので、荒地と言いますか耕作が出来ない土地が500ha まで出るんだと  
というような話と摺合せて、そういう構想も立てておかれないと客が増えた時に品物が  
ないという事になりますので併せて検討いただければと思います。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 また普及所ともそういったようなことを相談させていただきなが  
ら、適宜検討をさせていただきます。

○山本委員長 その他ございますか。ないようでしたら全体を通して何かございま  
すでしょうか。そういたしますと本日の委員会は以上で閉会といたします。お疲れ様  
でした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

副委員長